

令和6年度ふなばし結核通信

(医療機関・施設向け)

発行：船橋市保健所健康危機対策課 結核感染症係



ふなばし結核通信とは？

船橋市の結核についての現状をお知らせし、結核感染の拡大を防ぐために、令和3年度より年1回程度発行することとしました。

結核は、今でも毎年約10,000人以上の新しい患者が発生し、約1,600人が命を落としている日本の主要な感染症です。

船橋市の結核

	新登録患者数※1	罹患率※2	死亡者数
全国	10,235	8.2	1,664
千葉県	494	7.9	75
船橋市	46	7.1	2

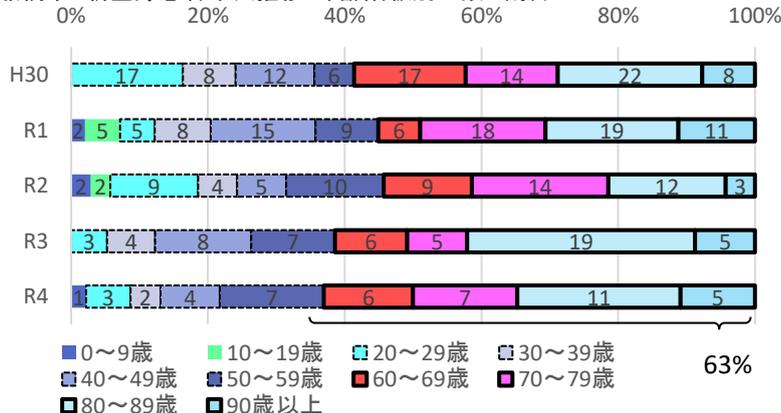
上記は令和4年の数値

※1 1年間に新たに結核を発病し登録された人の数

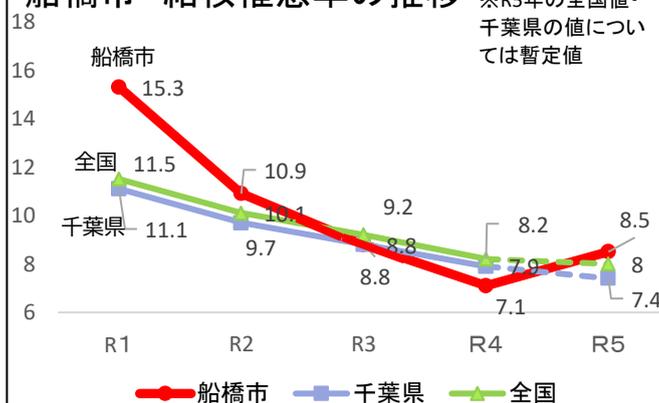
※2 新登録患者数を人口10万対で示した数字

- ・日本では高齢者の患者が多く、令和4年、全国で結核と診断された7割以上が60才以上で、過去5年で一番多い割合となっています。船橋市でも63%を占めています。
- ・船橋市は働き盛り世代（20～59才）が多く（令和4年の新登録患者のうち34.8%）、全国の20～59才の割合（25.0%）と比較すると約1.4倍です。
- ・令和4年の船橋市の結核罹患率は7.1と全国8.2および千葉県7.9を下回りました。
- ・令和4年の船橋市の結核罹患率は7.1と全国8.2および千葉県7.9を下回ったものの、令和5年には暫定値で減少する見込みの全国・千葉県とは異なり、新登録患者数55名と増加に転じており、まだ過去の病気ではありません。

船橋市 新登録患者年次推移：年齢階級別人数と割合



船橋市 結核罹患率の推移



塗抹陽性初回治療患者に占める 受診や診断、発見の遅れがあった患者の割合の推移

・船橋市は全国と比較して、受診の遅れや診断の遅れが多い傾向があります。

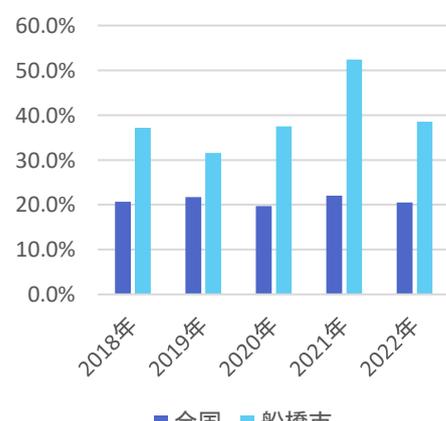
受診の遅れ(推移)



診断の遅れ(推移)



発見の遅れ(推移)



用語説明

受診の遅れ：症状が出てから受診までの期間が2か月以上

診断の遅れ：初診日から診断まで1か月以上

発見の遅れ：症状が出てから診断がつくまで3か月以上

事例については裏面へ